

## 【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<べんきょうすること>

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 54 ページ～）

きょうかしよの 54 ページを ひらこう。  
こどもがつけている ゼッケンをあわせて 8をつくろう。

(1) みどりのゼッケンをつけたペアで8をつくろう。

※3くみ みつけられるかな。

$$\square + \square \quad \square + \square$$

$$\square + \square$$

(2) あおのゼッケンとみどりのゼッケンのペアで8をつくろう。

※2くみ みつけよう。

$$\square + \square \quad \square + \square$$

(3)  $5 + 3 = 8$ の しきになる おはなしを つくろう。

◆「ぜんぶでいくつ」（きょうかしよ 56 ページ）

おなじ こたえに なる しきを せんで むすぼう。

$2 + 3 = \bullet$

$\bullet + 0 = 9$

$7 + 1 = \bullet$

$\bullet + 4 = 1$

$4 + 5 = \bullet$

$\bullet + 5 = 3$

に あてはまる かずを かきましょう。

$6 + 3 = \square$

$4 + 3 = \square$

$2 + \square = 9$

$5 + \square = 8$

$\square + 1 = 1$

$\square + 1 = 3$

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ぜんぶでいくつ（教科書 P54～56）

- ・たし算の学習でも、数を柔軟に見ることが大切になります。「答え」があっているかまちがっているかのみを考えるのではなく、答えから式を考えたり、あといくつたすと答えになるのかと考えたりする中で、「数の見方」を広げていきます。
- ・式から問題文（＝お話）を考える活動も同様の効果が期待できます。